

平成二十三年

住みよい町づくりは 安定した町政であつてこそ



御代田町長 茂木 祐司

皆さまには、おだやかな新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

私は、日本の政治の混沌と深刻な経済不況のもとで、不安な思いで生活されている町民の皆さまの思いに心をよせて、地方自治体として何ができるのかを日々考え、貴重な町の予算は、町民の皆さまの暮らしと地域の経済を支えるためにと、努力しています。

町民の皆さまには、これまでいただきました励ましの言葉、貴重なご提案やご批判に心から感謝を申し上げます。

この4年間、私は、前町政のもとで混乱していた課題などに果敢に挑戦してきました。町の将来にとつて、解決が迫られていた課題は4つありました。

1つは、町発展の最大の障害物であり、町政と町民生活を混乱させていた同和事業の全面的な廃止と、将来にむけて決して復活を許さないという課題でした。

同和事業の廃止は、町民の皆さまからたいへん歓迎されました。しかし、将来にむけて復活する危険性はないのかといえは、安心できるような状況までありません。

長野県では、いったん同和

団体の補助金を廃止しましたが、部落解放同盟などから復活の声が強まり、新たな「基本方針」では「同和問題の課題解決に向けた施策の推進」がだされ、復活の可能性が色濃くなってきました。私に課せられた使命は、御代田町での復活の芽を完全に取り除くことにあります。

2つ目の課題は、近隣の市町村や企業、国や県などとの友好な関係づくりでした。

例えば佐久市との関係では多くの課題がある中で、友好な関係づくりに努力した結果、西屋敷―御代田駅―浅間総合病院までの路線バスを佐久市と共同での運行が実現し、町の経費節減ができました。

国との関係では、厚生労働省への町職員の派遣を昨年からはじめました。お年寄りや地域の方々が集う施設の建設が塩野区と一里塚区で、厚生労働省の補助金6000万円を得て始まります。私が粘り強くつくりあげてきた友好な関係と人脈で、新しい事業が始まりました。

3つ目は、前町政のもとで止まっていた「町づくり交付金事業」を私の決断でスタートさせて、将来にむけて安心で安全に生活できる道路や水

路などの大規模な改修を行い、中学校の新校舎の建設を計画どおり実施する課題でした。

駅と役場周辺の道路の2車線化と歩道のバリアフリー化しなの鉄道を渡る「栄橋」の架け替え、通称「桜並木道路」の改修、中学校南側の平和台からの道路との交差点の改良など、これらが本格的な事業となります。

4つ目は、町のゴミが将来にむけて安定的に処理ができて、なおかつ町の財政的にも負担が軽い、佐久地域全体でのゴミ焼却施設の建設にむけた取り組みです。

この4年間の努力の積み重ねによって、ようやく佐久市による新施設建設の方向性がだされてきました。この課題は、私の町長としての政治生命をかけた大事業です。

新たな雇用の創出、子育て世代が働きやすい環境の整備、農業の振興や地域経済への新たな支援など、課題は山積しています。

同和事業の復活など、暗く混乱した町政への後戻りを許さずに、始まった改革を本格的に前進させ、安定した町政に向けて皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

新春あいさつ

心の豊かさを

実感できる町づくり



町 議 会 議 長 柳 澤 治

明けましておめでとうございます。
町民の皆さまには、平成23年の希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

議会に対しまして、町民の皆さまにはあたたかいご支援、ご協力をいただいておりますことに、議会を代表して心から御礼と感謝を申し上げます。

現在、日本では、世界同時不況の影響がいまだに大きく、エコカー減税、エコカー補助金、家電エコポイントなどの効果により景気回復の兆しはありますが、昨年の大学生の就職内定率は91%と、『就職氷河期』並みの就職難となっており、卒業しても就職できない雇用不安定な状態が続いております。

一方、社会情勢は、急速な少子高齢化の進展、人口減少社会の到来、地域主権の推進、地方の厳しい財政状況を受けた行財政改革の推進、温暖化防止対策など、多くの課題を抱えております。

昨年7月の参議院議員選挙において、野党が圧勝し再び

「ねじれ国会」になり、国民にとつての大事な法案が山積している中、法案がなかなかきまらない波乱な国会運営が続いております。

このような社会情勢の中、御代田町においては、現在、中学校の建て替え建設工事が着々と進んでおり、4月から新校舎の利用が始まり、23年度には旧校舎の解体や、グラウンドの造成、植栽などの工事が始まります。

また、町づくり交付金による、中学校周辺の道路整備や、駅、役場周辺の道路整備、橋の架け替え、緊急告知システムの設置など大きな事業も控えております。

医療、介護の負担増、教育子育て支援、新たな雇用の確保、町の活性化などの重要課題も山積しており、特に可燃ごみの安定処理の道筋は、一刻も早く解決していかなければなりません。

町民の皆さまの価値観が多様化し、物質的豊かさから安心・安全・快適といった心の豊かさへと変わっていることから、自治体が主体性を持ち、

自らの責任と選択により地域社会を築いていかなければならない時代を迎えております。こうした時代であればこそ、しっかりと地に足をつけ、この急激な変化への対応を見誤ることなく、町の将来に確かな展望を持たなければならぬと考えております。

議会といたしましても、町民の皆さまひとり一人が、夢と希望を持ち、御代田町で生まれ育ったことに、任んだことに喜びと誇りを感じていただける『町づくり』を、行政とともに推進していくことが、私ども議員に課せられた使命であると、決意を新たにしているところであります。

住民の代表機関として、よりきめ細かに、町民の皆さまの声をお聞きし、対話を深め、信頼される議会運営を進めてまいりますので、一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

終わりに、平成23年が御代田町にとりまして、すばらしい年でありますと同時に、町民の皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。新年のごあいさついたします。